

むささび

第47号

令和4年10月11日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasaki@jforest-kitashinshu.or.jp



国有林から生産された「信州プレミアムカラマツ」

関連記事は5ページに掲載



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 「北信州森林祭」を木島平村で開催 …… 2
- 令和4年度安全大会を開催 …… 3
- 産業医の衛生巡視が行われました …… 4
役員安全パトロールが行われました
- 信州プレミアムカラマツの紹介 …… 5
- 飯山中央幼稚園にハナミズキ植栽 …… 6
志賀高原ガイド組合職員に安衛則教育
- 中野平中3年生SDGs教育 …… 7
- 剥き芯価格改定 …… 8
ペレット燃料価格改定
SBCラジオに出演

北信州森林祭が木島平村で開催されました。



記念標柱を囲んで、主催者・来賓と緑の少年団で記念撮影



中山さんの北信州林業賞表彰の様子



植栽の様子

令和四年度北信州森林祭が六月十八日（土）に木島平村上木島池の平地区で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、植樹参加者の参集範囲を開催地の木島平村内とし、規模を縮小しての開催となりました。

当組合からも、森林祭スタッフとして職員五名が参加し、招待者としては、組合長と木島平村選出役員の参加となりました。

会場では、カラマツ苗木四百本が植樹され、主催者と来賓、そして緑の少年団により記念標柱が立てられました。感染防止のため、小規模な植樹だけの祭典となりましたが、来年こそは以前のような賑やかな祭典が復活されることを期待しています。

開会式典では、令和三年度北信州林業賞の表彰式が行われ、北信州地域の林業への功績により三名の方が、北信州林業振興会長である竹節山ノ内町長から表彰されました。当組合関係では、前組合長の中山稿一さんが受賞されました。

令和四年度安全大会を開催しました。

七月四日(月)に安全大会を「中野市北部公民館」で役職員が参加して開催しました。

今回も、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、協力事業体の参加と来賓の招待を取止めて、時間も短縮しての開催となりました。昨年は休業4日以上となる労働災害がゼロとなり、今年度も労働災害防止に向けて取組みを始めましたが、早々に休業4日以上となる災害が発生してしまいました。



安全大会の様子

災害要因としては不
安全行動があり、危険
予知といった基本的な
ことが欠落していたと
考えられます。昨年の
安全大会で「油断と過
信」について安全講話
で学習しましたが、ど
んなに知識を習得して
も、実際の現場に当て
はめて理解できなけれ
ば意味がありません。
労働安全衛生活動
は、継続して行ってい
くことが大切ですの
で、全ての役職員が労
働災害や物損事故の防
止を誓い、安全で健康
に生活できるよう、労
働安全衛生の共通認識
を持ち、労働災害ゼロ
を目指すことを目的に
今年も安全大会が開
催されました。



松本班の安全取組宣言



新人紹介での河野君の挨拶

昨年度の安全取組の優秀班の表彰につきましては、労働災害の発生状況や物損事故の発生状況から、該当班なしとし表彰は行いませんでした。大会では、新人紹介が行われ、下高井農林高校から技能職員として新卒採用された、河野大夢君が紹介され、これからの力強い抱負を述べました。新人紹介に続いて、各作業班と業務課の事業係、計画係、利用事業室から、安全取組宣言が行われました。続いて、全職員を代表して南都業務課長代理から「安全の誓い」が行われました。
安全講話では、今回は外部への講師依頼を行わず、南都業務課長代理により、各自の安全意識を啓発するとして、過去の災害事例等の画像を用いて紹介するを行いました。
労働災害や物損事故を発生させないためには、各自の自覚が重要になります。毎年、同じことの繰返しですが、労働安全対策に特効薬はなく、地道な活動の積み重ねが重要になります。皆が、安全で健康に生活できるよう、労働災害ゼロを目指してまいります。

産業医による衛生巡視を実施しました。

七月二十八日（木）に産業医による職場の衛生巡視を実施しました。産業医の徳竹修一先生と安全衛生管理者、衛生管理者と衛生委員が、赤坂林産事業所、千石造林事業所、利用事業室、本所の、事務所内の危険性、作業環境、作業管理、勤務体制、VDT機器、労働衛生対策についてチェックを行いました。

大きな問題は見あたりませんでした。巡視後の衛生委員会では、産業医からは「熱中症とハチ・ダニ対策について、可能な対策は行うようにして欲しい。」「熱中症対策としては、首回り・腋窩、鼠径部を冷やすこと。」「といった意見をいただきました。産業医の意見を含めて委員会議事録を各事業所に掲示するとともに、担当者適切な対応を指示しました。



千石造林事業所での巡視の様子

エピベン取扱説明会を開催

衛生巡視・衛生委員会の後に、産業医によるエピベン（アドレナリン注射液自己注射キット製剤）の取扱説明会が行われました。毎年、行っているもので、今年は二十四名が対象となり、一堂に会して説明会として行っていました。

エピベンは、毎年行っている蜂毒抗体検査で、これまでに陽性となった者に対して、救急措置用として所持させるものです。蜂毒によるアナフィラキシーショックへの対応として、呼吸困難等の症状に一時的に対処する薬剤です。

後日、産業医の医院で診察を受けて、各自に処方されました。

役員安全パトロールを実施しました。



八月二十六日（金）に業務委員と正副組合長による役員安全パトロールを実施しました。

今年度のパトロールは、往郷山国有林の搬出間伐と木島山国有林の搬出間伐の二現場を巡りました。

雨が続いたこともあり、作業道がぬかるんで歩きにくく、滑りやすいなどから、転倒災害等の注意をして欲しいという意見が出されました。

また、夏場の暑さ対策として、ファンが付いたクールベスト等の導入の検討や、林産現場で携行させている無線機を、造林事業等でも携行させるなどの意見が出ました。

作業状況や作業環境については、これまでの改善について、良い評価をいただきましたが、今回出された意見につきましても、検討し改善していきたいと思えます。

信州プレミアムカラマツの紹介



ブランド化された信州産カラマツ

平成二十九年度に、長野県と中部森林管理局でプロジェクトチームが組織され、県内木材関係団体と協働して信州産カラマツのブランド化として「信州プレミアムカラマツ」が誕生しました。

「信州プレミアムカラマツ」の規格は、長野県産の林齢八十年生以上の高齢級カラマツ人工林から出材された、末口径三十センチメートル以上の良質な大径材丸太とされています。

人工林カラマツは、高齢になるほど材の性質が安定化し、ねじれににくい成熟部の多い大径材になります。スギやヒノキと比べ強度が優れており、心材部分は銚色できれいな木目をいかした無垢材として、構造用等の建築材に使用されています。林齢八十年生以上の資源量は長野県が国内の四十五パーセントを占め、全国一の資源量を保有しているそうです。



プレミアムカラマツが生産された木島山国有林

今年度の国有林事業の生産請負の受注で、百年生のカラマツ林の受伐を受注しました。その現場で生産され北信木材センター（木材市場）に納めた中から、規格に合致した物が「信州プレミアムカラマツ」として売りされました。

写真の丸太は、立米単価五万一千円となったものです。プレミアムカラマツの市売りは、安いものでも立米単価三万円以上の価格となっています。

今回は、国有林で生産された物でしたが、民有林材も対象ですので、今後、主伐期を迎えるにあたり、たいへん期待される価格となっています。ただ、注意していただくかなければならないこととして、八十年生以上の物とされていることがあります。これは、植えてからの樹齢ではなく、あくまでも年輪の数で証明されることとなります。元玉でも、元から四メートル以上のところが末口となりますので、植えてから八十年では「信州プレミアムカラマツ」と認定されることにはなりません。植栽された場所にもよりますが、植えてから九十年以上経っていないと難しいと思います。

しかし、通常のカラマツ市売り価格の倍となっていますので、カラマツ林を所有される方にとっては、たいへん朗報であると思います。当組合としても、期待しているところです。

飯山中央幼稚園に

ハナミズキを植栽

六月十五日（水）に長野県緑の基金の依頼により、飯山市中央幼稚園の園庭にアメリカハナミズキを植栽しました。

これは、国土緑化推進機構の使途限定募金を活用したもので、令和元年度の十九号台風被害の復興支援として行われたもので、被災した同園がその対象となりました。

植えたハナミズキは高さ二メートル以上ありましたので、積雪対策として二脚鳥居に三メートルの支柱を備えました。

当組合職員が、園庭に穴を掘り、鳥居支柱を設置して植穴を残して埋め戻しました。そして植穴に苗木を設置して、用意した客土を園児たちに移植ゴテに入れてもらいました。最後に、バーク堆肥を根元回りに敷いて完了となりました。夏場には白い花を咲かせますので、皆さんに大切に育てていただきたいと思えます。



志賀高原ガイド組合職員への

安衛則教育

志賀高原ガイド組合から職員への「刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育」と「チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務に係る特別教育」の講師を依頼されました。刈払機については六月二十二日に、伐木等特別教育については六月二十七日二十九日と七月一日の三日間、本所会議室で行いました。

当組合の安全衛生管理者である田中参事が講師となり毎回六時間、受講生七人への講義となりました。

両講義では、林業木材製造業労働災害防止協会が発行のテキストを用いるとともに、実際の画像や動画を利用して理解しやすくなるよう工夫して行われました。また、使用する刈払機や刈刃、数種類のチェーンソーや目立て道具など用意して、その取扱実技についても行いました。

ガイド組合では、登山道等の整備を行っており、草刈りや、倒れかけている枯木を伐採して片付ける等行っているということでした。特に、枯木の伐採については危険な作業であり、安全対策をしっかりと準備した上で伐採することが必要で、そうした危険木の伐採についても動画を用いて分かりやすく指導を行いました。

中野平中学校3年生のSDGs教育



クノギリとマサカリで伐採しました。



スギの板で工作を行いました。

昨年の中野市立高社中学校でのSDGs活動に協力したことから、今年度は中野平中学校からSDGs活動への協力を依頼されました。今回は、希望する三年生十人が参加しての活動となりましたが、六月二十一日に森林・林業と森林組合について講義を行いました。そして、七月七日には以前は学校林であった森林の所有者さんのご厚意によりスギの木の伐採を行うことになりました。

学校から歩いて二十分ほどの中野市片塩にある山林で、昨年と同様にマサカリとノコギリを使って生徒達に伐採をしてもらいました。このスギの木は、昨年アカマツよりも径は細かったのですが、固く、切るのに時間がかかってしまいました。また、今回は倒した木の引出しも生徒達が行い、道路の近くまでは牽引機を使い、道路際にはロープを掛けて人力で引出を行いました。全員が力を合わせたことで、難なく引き出すことができました。引出した丸太は、高丘工場団地にある信越木材株式会社に運び、後日製材をしていただきます。

この伐採については、テレビ信州や北信ケーブルテレビで放送されたほか、北信ローカル新聞にも掲載されました。



生徒達の木工作品。



生徒達の木工作品。

製材した木材は、学校に運んでいただきましたが、これらについては地元の信越木材株式会社さんのご厚意で行っていただきました。

そして木材については、夏休み中の八月一日から四日間を生徒達が自主的に学校に登校して、木工工作に励みました。当組合で、道具の使い方等の指導を行い、様々な作品を完成させることができました。

これらの木工作品は、学校祭でPTA等に販売して、その売上を学校正面にあるマロニエ並木の枯損箇所の植栽経費に充てたいということでした。

当組合では、この植栽に当たっても指導協力を行うこととしていきます。こうした生徒達の活動を通じて、親世代に森林の大切さや、地元の森林から生産される木材について関心を持っていただければと考えています。

国が2050年のゼロカーボンを目指す中で、森林・林業がその一角を担っており、森林の価値は木の価格だけではなく、多様な価値があることを理解いただければと思います。

剥き芯・枝受け 価格改定しました。

十月一日から、剥き芯と枝受けの仕入価格の大幅な引き上げにとまない、販売価格を左表のとおり改定しました。

なお、配達が行っていませんので、事務所渡しの価格となります。

今回の価格改定は、木材価格高騰や、原油高による燃料費や原料費の高騰によるものです。

剥き芯

現行価格 160円 ⇒ 改定価格 220円

枝受け

現行価格 80円 ⇒ 改定価格 110円

※価格は消費税を含んだ金額です。

パレット燃料価格も大幅引き上げとなります！

・ ・ ・ 仕入価格の大幅上昇により価格改定いたします。 ・ ・ ・

パレット燃料 ピュア1号 (10kg)

現行価格 600円 ⇒ 改定価格 693円

※価格は消費税を含んだ金額です。

ウッドショックや円安により、木材価格の高騰が続き、原材料価格が高騰していることや、製造にかかる燃料費の高騰から、仕入価格が大幅に引き上げられました。

十月仕入分から販売価格を右記の価格に改定させていただきます。

なお、配達を希望される場合は、別途配達料をお見積りいたします。

たいへん申し訳ありませんが、よろしくお願いたします。



SBCラジオに出演

六月二十五日に長野県森林組合長会によるラジオ番組がSBCラジオで放送されました。今回は栄村・北信州・長野・北アルプス・松本広域の五組合による意見交換となりました。

中澤アナウンサーの進行により、台詞も決まっていな中で、森林組合の行っていること、地域の森林の状況など、上手くまとまった内容となりました。

この放送については、四回放送され県下の森林組合が出演します。また、ユーチューブ動画でも配信されております。

興味のある方は、ユーチューブ「あなたと信州の森のこれからの話し」を検索してください。



YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/watch?v=ko2tuXSpHM0>

本 所

〒383-0061 中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255 飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

ウッドショックは収まったようですが、円安により木材価格は高いまのようです。また、ロシア制裁でカラマツの輸入が減少しているようです。そうしたことの影響が、私たちの暮らしにも出てきているようです。